



まんだらげ

Vol.52
2020 SPRING



和歌山電鐵「おもちゃ電車」と桜（和歌山市）

Contents >>>

特集 ……手や足がむくむ“リンパ浮腫”に対する
スーパーマイクロサージャリー

Topics ……病院機能評価認定更新
がん相談支援センター・出張就労相談

Information ……がん遺伝子パネル検査保険診療開始
肝炎コーディネーター
がん患者・家族、県民のための公開講座開催
樹状細胞ワクチン治験実施施設拡大

理念 私達は安全で質の高い医療を提供し、
地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と同意のもとに、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

手や足がむくむ“リンパ浮腫”に対



リンパ浮腫の現状

厚生労働省の統計によると、2016年の1年間で女性の乳がん患者は約9万人、子宮がん患者は約3万人、男性にみられる前立腺がん患者は約9万人が新たにがんと診断されており、今後も手術などによる根治療法の拡大と共に、さらに多くのがん患者が手や足のむくみ（リンパ浮腫）を発症することが予想されます。

これらの悪性腫瘍治療後のリンパ浮腫は全体の80～90%を占めており、四肢の腫脹だけにとどまらず①皮膚硬化②皮下脂肪の増加③感染（蜂窩織炎）という特徴的な兆候を認め、患者の生活の質（Quality of Life: QOL）の低下だけでなく、日常生活動作（activities of daily living: ADL）も著しく障害します。一度発症すると、難治性で徐々に進行し、重症化するまで放置される方も多くいます。

するスーパーマイクロサージャリー

リンパ浮腫とは

リンパ浮腫とは、リンパ管の流れが悪くなることで起きる手足のむくみのことです。心臓から送り出された血液は身体へ染みわたった後に、静脈とリンパ管を通して心臓へと戻ります。リンパ管は、水分やタンパク質の成分（リンパ液）を一日で約2～3リットル運ぶといわれています。しかし、手術や放射線治療によりリンパ管（節）が障害されると、リンパ液を心臓まで運びきれず腕や足にリンパ液が溜まり、むくみ（浮腫）として出現します（図1）。

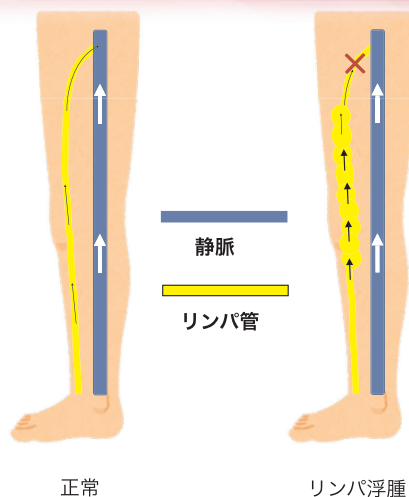


図1

外科的治療“スーパーマイクロサージャリー”

このようなリンパ浮腫に対する治療では、溜まったリンパ液を静脈に直接戻すためのバイパス道をつくる外科的治療が必須となります。

当院形成外科では顕微鏡下でリンパ管と静脈を、髪の毛より細い糸で吻合（スーパーマイクロサージャリー）するリンパ管静脈吻合手術（LVA：Lymphaticovenular Anastomosis）を行っています（図2）。

スーパーマイクロサージャリーとは、50ミクロン＝0.05mm程度の髪の毛より細い糸（11-0、12-0 ナイロン）を用いて、太さ0.5mm以下の血管やリンパ管などを顕微鏡下で吻合する技術のことです。

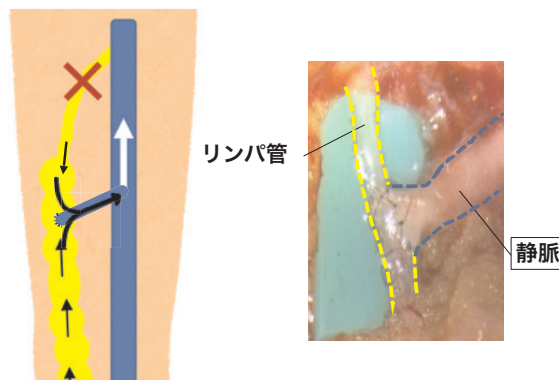


図2

リンパ管静脈吻合術

当院独自の治療

当院では手術だけでなく、第一外科・リハビリテーション科と協力して保存的療法も行っています。保存的療法には、ストッキングによる圧迫療法やリンパドレナージなどがあります（複合的理学療法）。

浮腫を認めたら、できるだけ早期に治療を開始すると完治率が高いとされているため、手術と並行し

て複合的理学療法を行っています。現在、リハビリテーション科によるプールでの運動療法など当院独自の療法を行い、日常生活に支障が出ないようQOL及びADLの向上に努め、より効果的な治療法の開発に取り組んでいます。

「病院機能評価 3rdG:Ver.2.0」へ認定更新しました

一昨年11月に公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価 3rdG:Ver.2.0」の審査を受審し、この度、「一般病院3」としての認定を受けました。平成20年1月の第1回認定以来、3回目の認定で、認定期間は2018年1月28日から2023年1月27日までの5年間となっています。

病院機能評価は、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行う第三者評価です。当院が受審した「一般病院3」は平成30年4月に新設された、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院（特定機能病院、大学病院本院等）を対象とするものです。

評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」の4つの評価対象領域から構成さ

れる評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理及び提供される医療について行われます。各項目は「S」「A」「B」「C」の4段階で評価され、当院では、リハビリテーション機能及び救急医療機能などについて、最も高い「S」の評価をいただきました。今後は評価結果を踏まえ、さらなる改善に向けて取り組み、県民の皆様からより一層信頼される病院運営に努めてまいります。



審査風景

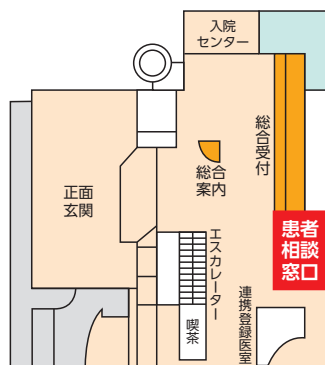


がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族のがんに対する不安・悩みの相談及びがん医療に関する情報提供を行っています。がんの診断から治療、

その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって疑問や不安を感じたとき、一人で悩まず「がん相談支援センター」にご相談ください。

患者支援センター・がん相談支援センターのご案内



患者相談窓口までお越しいただくか、お電話ください。

相談受付時間：平日 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)
電話番号：073-441-0778

あなたの理解を助けます

- 医師からの病状説明が難しくよくわからなかった
- 副作用が心配 など

あなたの心を支えます

- がんと言われて頭の中が真っ白に
- 誰にも相談できなくて悩んでいる
- セカンドオピニオンについて聞きたい など

あなたの家族も支えます

- 家族ががんになったが、どう接すればいいのか など

あなたの療養生活を支援します

- 医療費はどのくらいかかるのか？
- 自宅療養中だが入浴の介助ができない
- 病院で使っていたようなベッドを借りることができるか
- がんで治療が必要と言われたが、仕事はどうすればいいのか
- 治療に伴い脱毛すると言われたが、ウィッグ(かつら)など、誰に相談すればいいのか
- 食欲がないときに近くのクリニックで点滴を受けたい
- 治療が落ち着いたので再就職したい
- その他、患者さんの療養上の相談 など

出張就労相談等のご案内

ハローワーク和歌山から就職支援ナビゲーターが来院し、がん等の疾病による長期療養のため離職・転職を余儀なくされた患者さんであって、就職を希望する方を対象に、職業相談及び職業紹介を右記のとおり実施しています。相談は予約制です。患者支援センター(073-441-0778)までお電話をいただくか、附属病院中央棟2階の患者相談窓口でお申し込みください。

日時：毎月第1、第3火曜日
(一人当たり30分程度。第3火曜日は当日申込可能。)

また、上記以外に、がん等の疾病により治療と仕事の両立支援を必要とする患者さんの相談も随時行っています。

がん遺伝子パネル検査の保険診療を開始しました

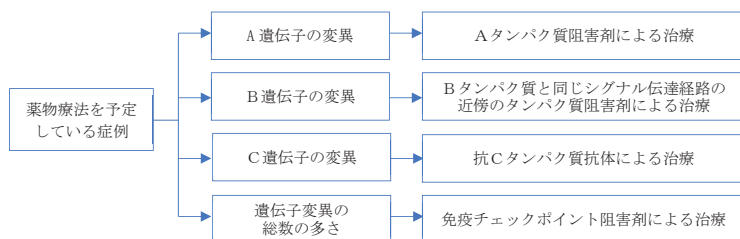
がん遺伝子パネル検査とは、手術や検査で採取したがん組織などを用いて患者さんのがん細胞に生じているがんに関連する多くの遺伝子変異を解析し、遺伝子変異の有無によって治療法を選択する際の参考にする検査です。

当院では平成30年10月から「がん遺伝子検査外来」を開設し、これまで自費診療を中心としたがん遺伝子パネル検査を実施してきましたが、令和元年6月に「FoundationOneCDx」と「OncoGuide™NCCオンコパネルシステム」という2つの検査が保険診療の対象とされたことを受け、令和2年1月からがん遺伝子パネル検査の保険診療を開始しました。

検査の対象となるのは標準治療がない固形がんの方、または標準治療が終了した、もしくは終了が見込まれる進行した固形がんの方です。また、がんによる症状で日常生活に支障がないことが条件になります。

費用はどちらの検査も56万円で、健康保険（3割または1割）が適用されるとともに高額療養費制度の対象にもなります。

検査について詳しくお知りになりたい方は主治医にご相談いただくか、患者支援センター（073-441-0778）にお問い合わせ下さい。



がん遺伝子パネル検査の流れ

当院には肝炎コーディネーターがいます！

和歌山県肝炎コーディネーターは、肝硬変や肝がんへの移行者を減らすために、県民に肝炎の理解を広めるとともに、肝炎患者さんやそのご家族をサポートすることを役割として、平成29年度より和歌山県で養成が開始されました。肝炎コーディネーターは、和歌山県が開催する養成研修（写真①）を受けることにより、和歌山県から認定されます。当院では、検査、治療方法、服薬、医療費の助成制度など肝炎に関する幅広い知識とスキルを持つ医師、看護師、栄養士など16人が肝炎コーディネーターに認定されています（令和2年1月時点）。

当院における肝炎コーディネーターの活動内容は、患者さんが安心して検査や治療を受け、日常生活を送ることができるように、患者さんやご家族に対して肝炎の検査や治療、お食事などに関する相談や助言、医療費助成等の支援制度などの案内を行うことです。

当院の肝炎コーディネーターは名札に右図の缶バッ

ジをつけています（写真②）。「どのような助成制度があるの?」「日常生活でどのようなことに気を付けたらいいの?」「肝炎ウイルス検査はどこで受けることができるの?」など、わからないこと、不安なことがあれば、遠慮なく肝炎コーディネーターにお声掛けください。

問い合わせ先：肝疾患相談支援センター

電話：073-441-0850（直通）

（平日9～12時、13時～16時）



写真① 研修会風景



写真②
缶バッジ

がん患者・家族、県民のための公開講座開催 「大切な人の『想い』とともに…」

令和2年1月19日(日)に和歌山県立図書館2階メディア・アート・ホールにおいて、がん患者・家族、県民のための公開講座を開催しました。この公開講座は当院と和歌山県立図書館が主催で毎年開催しているものです。今回は『112日間のママ』『笑顔のママと僕と息子の973日間』の著者で、一般社団法人清水健基金代表理事・キャスターの清水健さんにご講演をいただきました。

「大切な人の『想い』とともに…」と題された講演では、奥様が若年性乳がん罹患され、献身的に支えながら一緒

に病気と闘ったこと、シングルファーザーとして奮闘していることなど、実体験が話されました。また、周囲の人に支えられて「今」があることに感謝の気持ちを伝えたい、一人でも笑顔の人が増えてほしいという清水さんの思いが、ありのままのまっすぐな言葉で語られました。

参加者からは、「清水さんの前向きな姿に感動した」「自分を甘やかしてください」という言葉で心が軽くなった」などの感想が寄せられ、大変貴重な公開講座となりました。



膵臓癌に対する樹状細胞ワクチン開発の医師主導治験 ～治験実施施設の拡大～

本学の外科学第2講座の山上裕機教授を中心とする研究チームは、2017年3月から膵臓癌に対する日本で初めての樹状細胞免疫療法の医師主導治験を実施しています。これまで11医療機関12診療科の多施設共同研究で有効性を検証してきましたが、この度、3つの医療機関が新たに治験実施医療機関として加わり、今後は14医療機関15診療科によるAll Japan体制で実施していくこととなりました(表1)。

今回の治験で用いる樹状細胞は、癌免疫療法での司令塔となる細胞です。この樹状細胞にはT細胞を活性化させる働きがあり、活性化したT細胞が癌細胞への攻撃を行うという従来にはない新たな癌免疫療法です。

膵臓癌は肺癌、胃癌、結腸癌に次いで4番目に多い癌で、直近25年間の発生率、死亡率が1.5倍に増加しており、約3分の2の患者さんは診断時にはすでに遠隔転移などの高度進行状態であるため、難治性の癌とされています。

本医師主導治験では、2021年3月までに登録された患者さんのデータを集積・解析し、樹状細胞免疫療法の安全性と有効性を検討した上で、標準療法不応の進行膵臓癌に対する再生医療等製品としての承認を目指しています。標準療法不応の進行膵臓癌の治療法はまだ確立されておらず、より効果的な治療法の開発が期待されます。

表1 治験実施医療機関一覧

北海道地方	医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院
関東地方	千葉県がんセンター 医療法人 沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院 神奈川県立がんセンター
中部地方	愛知県がんセンター 名古屋大学医学部附属病院
北陸地方	富山大学附属病院
近畿地方	大阪国際がんセンター 大阪市立大学医学部附属病院 奈良県立医科大学附属病院 和歌山県立医科大学附属病院
中国地方	山口大学医学部附属病院
九州地方	九州がんセンター 長崎大学病院

予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「**予約制**」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」**にて患者支援センターに FAX 送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、**予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

患者支援センター
FAX 番号：073-441-0805
受付時間：月・火・水・金 9:00～19:00
木 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などで紹介状**をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② **「当院予約センター」**に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、**紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

電話予約センター
電話番号：073-441-0489
受付時間：月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

***** 看護師・助産師募集中 *****

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。
※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。
下記までお問い合わせください。

TEL 073-441-0711 (事務局総務課)
<https://www.wakayama-med.ac.jp/>
公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺 811-1



患者さんの権利

当院では、受診される皆様は、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。